

2016年度「イオン・スカラシップ」奨学生 募集要項

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、当財団と略)は、「次代を担う青少年の健全な育成」、「諸外国との友好親善の促進」、「地域社会の持続的発展」に資する事業を3つの柱とし、社会貢献活動を推進するために1989年に設立されました。

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

 **AEON 1% Club Foundation**

1. 今年度の全体タイムスケジュール

- (1) 4月25日必着、各大学は当財団に候補学生を推薦
- (2) 5月13日頃、選考委員会にて奨学生を決定
※第三者による選考委員会にて選考
- (3) 5月17日を目途に、書面にて各大学に決定通知を送付
- (4) 5月末日迄に必着、各大学から請求書の到着
- (5) 6月末頃、各大学へ奨学金を振込
- (6) 7月2日、認定証授与式の開催

2. 推薦者の募集に関して

- (1) 採用予定人員(受給予定学生数)
各大学3名(大学推薦の6名または6名以上の候補者から選考)
- (2) 支給金額及び支給方法
 - ① 年間授業料全額(但し、230万円を上限とします)に変更(消費税込み)
 - ② 生活費 月額10万円(消費税込み)
 - ③ 採用決定後、授業料及び生活費を大学経由にて支給
※尚、生活費支給については、大学において毎月の在籍確認を要する
- (3) 支給期間
 - ① 原則として、2016年4月1日から2018年3月31日までの2年間とする。
※2年目継続の可否に関しては、前年度の成績や活動参加への積極性等の総合面を考慮し、大学側と協議の上、延長することができる。
 - ② 学部においては、最大4年間支給できるものとする。但し、再度願書を提出の上、選考等を受けるものとする。
- (4) 応募の手順
 - ① 奨学生に応募するものは、以下①～⑥の提出書類等を、大学が指定する日までに、在籍する大学あてに提出しなければならない。
 - a. 奨学生申込書(所定の様式による) ※本人の直筆記入のこと
 - b. 誓約書(所定の様式による) ※本人の直筆記入のこと
 - c. 学業成績証明書(現課程のものが入手不可能な場合は前課程のもの)
 - d. 在留カードのコピー(両面)
 - e. 日本語能力試験証明書のコピー
 - f. 写真(4cm×3cm 1枚。裏面に氏名を記入の上、奨学生願書に貼付すること。直近3ヵ月以内撮影したもの)
併せて、顔写真データ(JPEG)を大学担当者に提出
 - ② 前記①の申請があったときは、当該大学において推薦者を決定し、指導教員もしくはそれに準ずるものの推薦書(所定の様式)を添え、
2016年4月25日(月) <必着> 迄に当財団へ送付すること。
※尚、応募書類は一切返却しません。
また、応募書類は奨学生の選考等、当奨学金支給制度の検討及び実施運用の目的に使用し、他の目的には使用しません。
- (5) 各大学が当財団に推薦する学生の
【必要条件】
 - ① 卒業後、日本と母国の架け橋となって活躍したい方
 - ② 中国(香港含む)、マレーシア、タイ、台湾、インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、バングラデシュいずれかの国籍を有している私費外国人留学生
 - ③ 宗教系・政治系を除く全分野

- ④ 大学学部及び大学院修士課程在学する正規生
- ⑤ 2016年7月2日(土)に実施する、スカラシップ認定証授与式に出席できる方
- ⑥ 学業、人物ともに優秀で、真に経済的援助を必要とする方
 ※具体的には、月の生活費(授業料は除く)が10万円以下で、且つ、月の収入の過半がアルバイトとなっている学生(もしくはアルバイトを要する学生)
- ⑦ 本年4月1日現在で30歳以下(学部)又は、35歳以下(修士課程)である方
- ⑧ 他機関からの奨学金の支給を受けない方
- ⑨ 公序良俗に反することなく、学生生活を過ごせる者

【十分条件】

- ① 奨学金受給後、アルバイト時間数を半減以上できる方
- ② イオンワンパーセントクラブが企画する行事に極力参加できる方
- ③ 下記のいずれか提出すること
 - a.日本語能力試験 1 級/N1 成績証明書
(原則として旧試験で 250 点以上、または新試験 90 点以上の点数が必要)
 - b.日本語能力試験 2 級/N2 合格証明書
 - c.日本語能力試験 2 級/N2 相当以上の実力を有することを証明するもの
(在籍している学校側の担当教員が署名・押印したもの)

3. 奨学生の選考方法

- (1) 各大学は、受給者決定にあたり、その候補者(6名または6名以上)を事前に本事務局に通知する。
- (2) 本制度受給者の国籍構成
1大学あたりの受給者の国籍構成は、2カ国以上とする。
- (3) 本事務局は、大学側からの推薦を受け、第三者による選考委員会を開催し、各大学の奨学生を決定する。

4. 選考及び結果の通知

- (1) 大学において本事務局の基準に基づき、候補者を決め、本事務局に推薦する。
(4月25日必着)
- (2) 本事務局において、大学から推薦された候補者から選考委員会による選考にて決定する。(5月13日頃)
- (3) 奨学生の決定通知は、選考委員会での選考終了後、各大学に連絡する。
(5月17日を日途に)
- (4) 当奨学金と重複して他機関からの奨学金の内定(決定)を受けた場合、本人は大学を通じて速やかに本事務局へ届け出ること。

5. 奨学金受給者の責務

- (1) 当奨学金制度は給付奨学金であり、返済の義務はない。
- (2) 毎学期成績表を提出すること。
※学部4年または修士2年に上がる時点で卒業・修士論文担当の教授直筆の卒業見込み意見書の提出すること。

- (3) 住所、電話番号(携帯、自宅)、メールアドレス等の連絡手段に変更があった場合、本事務局まで速やかに連絡すること。
- (4) イオンワンパーセントクラブが企画する行事に参加するよう努力すること。

6. 奨学金の支給の停止または終了

以下のいずれかに該当する場合には、奨学金の支給を停止または終了することができる。

- (1) 支給期間中に応募資格を満たさなくなった場合
- (2) 病気、休学その他の理由により学業または課程を継続する見込みのない場合
- (3) 学業成績の著しい低下、出席日数の低下、素行が不良となった場合
- (4) 在籍大学の学籍を失った場合
- (5) 留学(海外研修を含む)した場合(一度の留学で3ヵ月を超えないこと。奨学金受給中累計で6ヵ月を超えないこと)
- (6) 本事務局に対する提出書類及び届出事項に虚偽があった場合
- (7) その他、当社が奨学金の支給目的・趣旨または社会的相当性の観点から、奨学金の支給を不相当と認めた場合

※尚、奨学金の支給を停止されたものが、その事由が止んで、在籍大学学長を経て奨学金支給の再開を願い出たときは、第4項(1)に記載した奨学金支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。

7. 参加行事の内容例

- (1) 奨学金授与式 (2016年7月2日(土))
※個人的な事由により欠席した場合は奨学金を取り消し
- (2) 奨学生交流会(スカラシップセミナー)への参加
※(1)、(2)の交通費(一部)、宿泊費は本事務局が負担いたします。
- (3) 奨学生の居住地域で開催される、イオンワンパーセントクラブが企画する社会貢献事業。

以 上

2016 年度イオン・スカラシップ奨学生申込書

(本人が直筆で記入してください。)

写真貼付位置
(3cm×4cm)

3 ヶ月以内に撮影
したもの。

【申込書記入の注意】

1. インク又は黒のボールペンで**自筆**にて記入すること。
2. 数字は算用数字(1, 2, 3等)を用いること。
3. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
4. 用紙中のすべての事項欄に正確に記入し、該当事項がない場合は、「なし」と明記すること。
5. 住所、電話番号、E-mail アドレスなど連絡先をご記入の際、必ず詳しくご記入ください。

(ヨミガナ)

1. 氏名(母国語での表記)

姓 Last 名 First ミドルネーム Middle

(パスポート記載の英文)

Last First Middle

2. 生年月日 年 月 日 3.年齢
(2016年4月1日現在)

4. 性別 男
 女

5. 国籍

6. 大学名 学年 (2016年4月1日現在) 学部 修士
() 年

研究科・専攻
(大学院生のみ記入)

学部・学科
(学部生のみ記入)

入学年月 年 月 卒業予定年月 年 月

7. 現住所 (郵便番号)
(最寄駅: 線 駅)

電話番号 (携帯) (自宅) (FAX)

電子メールアドレス (PC)

電子メールアドレス (携帯)

8. 母国連絡先 (住所)
(郵便番号:)

電話番号 (携帯) (自宅) (FAX)

9. 経済状況

(大学・大学院の授業料は除いてください)

本国等からの仕送り額月額 (仕送りしている人との関係)	円	住居費(月額) (自宅・借マンション・借家・下宿・寮・アパート・同居) ※該当するものに○印を付けてください	円
アルバイトの収入 職務内容 (家庭教師・通訳・コンビニ店員等具体的に記入) 1週間当たりの平均勤務時間数 h	円	光熱費	円
貯金の取り崩し	円	食費	円
現在受給している奨学金 (有・無)	円/月	通信費(携帯、インターネット等)	円
その他の収入額 (内 訳)	円	交通費	円
		その他の支出額 (内 訳)	円
1ヶ月の平均収入額	円	1ヶ月の平均支出額	円

(左欄、右欄はバランスさせること)

◆昨年1年間の収入(2015年1月~12月).....円

◆授業料: 年額円 (全額免除・一部免除・全額自己負担)
(授業料が一部免除の場合、自己負授業料: 年額円)

10. 奨学金を必要とする理由

.....

.....

.....

.....

11. 奨学金使途 (家賃等の生活費支弁、教材等の購入費など具体的にご記入ください)

.....

.....

12. 履修・研究計画

(取り組んでいる専門分野、修学目標、スケジュール、関心のある事項などを具体的にご記入ください。)
※院生の場合は、修士論文の研究テーマの表題とそのテーマを決めた理由を明記してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

13. 卒業後の進路

(日本留学後、希望する仕事または職場、帰国、進学、就職など、できるだけ具体的にご記入ください。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

14. 日本語を学んだ学校(組織)と学習を始めた時期

学校(組織)名・所在地:

日本語学習を始めた時期:

* 本願書にご記入頂いた情報に関しては、イオン・スカラシップ奨学生としての採用審査及び今後イオン1%クラブよりの定期的な連絡やイオンの情報誌などを発送する際にのみ用いるものであり、その他の目的には利用いたしません。

* 円滑に皆さんとコミュニケーションを取るために、一般財団法人イオン1%クラブ事務局から連絡する際、対象者全員宛て一括送信します。(BCCではなくCCにて送信します。)予めご了承ください。

上記内容に十分ご理解したうえ、ご署名ください。

申請者署名 _____

申請年月日 _____

【事務局使用欄】

1.	
2.	
3.	
4.	

2016年度 奨学生推薦書

年 月 日

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
理事長 横尾 博 様

以下留学生をイオン スカラシップの奨学金支給対象者として、推薦いたします。

大学 課程: 学部・修士 学年 年

学部・学科名
研究科・専攻:

ヨミガナ

氏名(母国語)

Family , First , Middle

氏名(パスポート記載通りの英文)

Family , First , Middle

推薦者(指導教員もしくはそれに準ずるもの)



連絡先

E-mail:

電話:

推薦理由(簡条書でご記入ください)

※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付して下さい。

誓約書

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
理事長 横尾 博 様

1. 私は、イオン スカラシップ奨学生制度が、日本と諸外国との友好親善を促進することを目的としていることを理解し、イオン スカラシップ奨学生として、次の事項を守ることを誓約します。
 - (1)この制度の目的を達成するため、日本の大学等における学則その他大学等の定める規則に従い、学習または研究に専念し、成績の向上に努めること。
 - (2)この制度の目的を達成し、学業に専念するため、アルバイト時間を半分以下に減らすこと。
 - (3)日本の法令等に違反しないこと。
 - (4)イオン スカラシップ奨学生の信用を傷つけ、又は不名誉となるような行為をしないこと。
 - (5)貴財団から支給される奨学金の額を超えて必要とする金額については、自己の責任において支弁すること。
 - (6)日本において債務を負った際は、自己の責任において弁済すること。
 - (7)貴財団が企画する行事に積極的に参加すること。
 - (8)申込み書類に記載された連絡先(住所、電話番号、E-mail アドレス等)が変更になる場合、直ちに貴財団まで連絡すること。
2. 上記の事項に違反した場合、申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、又は、大学において懲戒処分を受けた場合、若しくは成業の見込みがないと判断された場合には、貴財団より奨学金の支給を取りやめられても、不服を申し立てません。

日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名: _____

国 籍: _____

大 学 名: _____

申請者署名: _____